

2026 年 1 月 30 日
株式会社 JR 東日本スマートロジスティクス
佐川急便株式会社

JR 東日本スマートロジスティクスと佐川急便 マルチエキュープを活用した物流サービスで協業深度化

- 株式会社 JR 東日本スマートロジスティクスと佐川急便は、協業に関する基本合意書を締結しました。
- 手ぶら観光の需要拡大や再配達回数の削減など、物流効率化への社会的要請が高まる中、両社は多機能ロッカー「マルチエキュープ」を活用し、旅行者・生活者の利便性向上と配送の最適化を図ります。
- マルチエキュープを通じた駅の物流拠点化と手ぶら観光の推進を通じてお客さまの新しい期待や社会課題に応えるサービスを提供することで JR 東日本グループ経営ビジョン「勇翔 2034」で掲げられる LX（ライフスタイルトランスフォーメーション）の達成、および SG ホールディングスグループの中期経営計画「SGH Story 2027」における、佐川急便の重点施策のひとつ「リアルコマース」の推進に寄与していきます。

1. 協業の背景

近年、EC 市場の拡大やインバウンド需要の回復により、生活者・観光客の荷物に関するニーズは多様化しています。一方で、宅配便の再配達増加やドライバー不足といった物流業界が抱える課題は依然として残っており、対応が求められています。これらの状況を踏まえ、荷物の受け取り方を柔軟にする取り組みは、産業・社会全体にとって重要なテーマとなっています。

佐川急便が強化を進める個人向け（ToC）サービスにおける“受け取り方の選択肢拡大”やインバウンド需要増加に伴う“手ぶら観光の支援”、社会課題の解決に向けた戦略と、JR 東日本スマートロジスティクスが展開する多機能ロッカー「マルチエキュープ」を組み合わせることで、受取拠点の多様化を加速させ、観光・日常生活・ビジネスなど、幅広いシーンで利用価値を創出できると判断し、今回の協業に至りました。

2. 協業の目的と提供価値

■ 手ぶら観光・インバウンド支援

駅で荷物を預け、ホテルや空港で受け取れる動線を整備し、観光客が手ぶらで旅を楽しめる環境を提供します。

特にインバウンド需要の回復を見据えた利便性向上に寄与します。

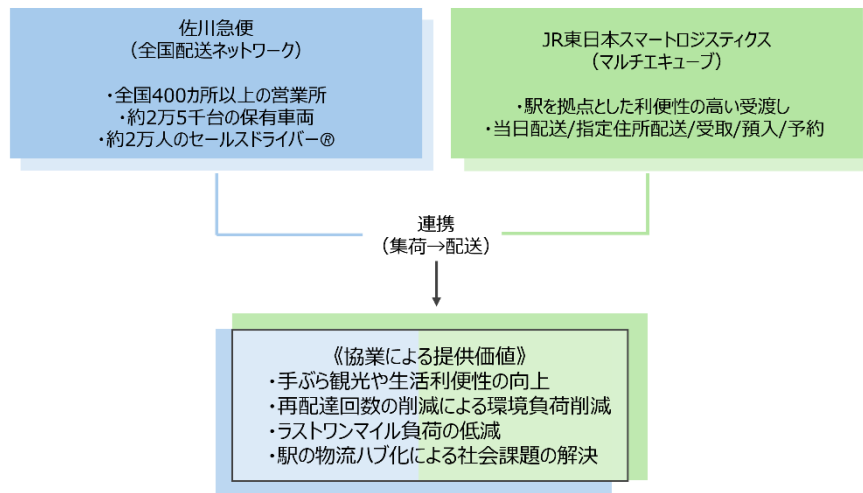
■ “いつでも・どこでも受け取れる” 環境の実現
駅、空港、ホテル、商業施設、住宅エリアなど、利用者の移動動線上に受取ポイントが拡大。



通勤・旅行・買い物など、さまざまなシーンで荷物の受取が可能になります。

■ 配送効率化・再配達回数の削減

非対面受取・発送可能なマルチエキュブの活用により、再配達回数を削減し、ドライバー負荷の軽減・CO₂排出量削減など物流課題の解決を推進します。



3. 今後の取り組み内容

① 手ぶら観光・旅行動線の強化

- ・駅→ホテル／駅→空港／空港→ホテルへの当日配送の拡充
- ・荷物が先回りする“ストレスのない旅行体験”を提供
- ・観光需要・インバウンド需要に対応した利便性向上策を推進

② 受取拠点の拡大

- ・駅を起点に、空港・ホテル・商業施設などとの連携を強化
- ・移動動線の中で荷物の預入・受取が可能になる環境を整備

③ 非対面受取・発送の利便性向上

- ・マルチエキュブでの非対面の預入による発送
- ・佐川急便との連携を通じた効率的な配送ネットワークの確保
- ・再配達回数の削減により配送負荷を軽減

④ サービス連携の強化

- ・佐川急便「スマートクラブ」からロッカー予約可能とする導線を検討
- ・マルチエキュブ WEB サイトから佐川手荷物預かり所予約を可能とする機能を検討
- ・手ぶら観光・受取拠点拡大施策に関する共同 PR の実施

4. 観光業界への効果

両社の協業により提供するサービスは、旅行者が荷物を持たずに移動できる環境を提供し、観光体験の質の向上に貢献します。大きなスーツケースを持つ旅行者が減ることは、駅・列車・観光地の混雑緩和に寄与し、オーバーツーリズム対策になります。さらに、荷物の制約の減少は、購買行動を促すことに繋がります。購買行動の活性化を通じ、地域店舗での消費拡大や地域経済活性化に貢献することを目指します。観光需要の増加が続く状況下、「旅行者の利便性向上」×「混雑緩和」×「地域経済の活性化」を同時に実現するインフラとして、今後さらに重要な役割を果たすことを目指します。

5. 社会への効果

両社の協業は、社会全体に以下のような効果を波及させることが期待されます。

- 物流業務の効率化

佐川急便の配送網とマルチエキュブによる非対面受取を組み合わせることで、ラストワンマイルの効率化が進み、持続可能な物流体制の構築に寄与します。

- 労働力不足の緩和

再配達削減はドライバーの業務負担軽減につながり、物流業界が抱える労働力不足問題や働き方改革への対応にも貢献します。

ロッカーに関するお問い合わせ

・株式会社 JR 東日本スマートロジティクス 営業戦略部

TEL:03-6682-0050 / MAIL: info@jre-sl.co.jp

配送に関するお問い合わせ

・佐川急便株式会社 広報部

TEL:03-3699-3614 / MAIL: pr@sagawa-exp.co.jp

【別紙 1】

(参考) 多機能ロッカー「マルチキューブ」について

1 機能概要

マルチキューブでは「予約」「預入」「受取」「発送」の4つの機能を一台でご利用いただけます。目的に応じロッカーを使い分けいただく必要がなくなり、お客さまの身近な駅のマルチキューブ一台でシームレスなご利用が可能です。また、お客さまの操作時を除いて、扉は常時施錠しているため、お客さまには安心・安全にロッカーをご利用いただけます。

2 設置場所・台数

2025 年 12 月末時点で、東京駅や新宿駅など 270 駅に計 793 台を設置しています。2026 年度内に日本全国約 1,000 台を展開予定です。

3 マルチキューブ WEB サイトと発送サービス

マルチキューブ WEB サイトは、ダウンロード不要の WEB サービスです。空きロッカーの検索ができるほか、利用料に加えて予約料（500 円）をお支払いいただくことでロッカーの予約が可能です。月額 500 円をお支払いいただければ、予約料が 1 ヶ月間不要となるプレミアム会員制度もあります。

また、マルチキューブ WEB サイトにてご予約いただき、対象のロッカーに荷物を預け入れていただくことで、ご自宅等の指定住所へお届けするサービス、ご宿泊先のホテルに当日中にお届けするサービスもご利用いただけます。

※対象は一部マルチキューブとなります。

WEB サイト <https://multiecube.com>



【別紙 2】

（参考）株式会社 JR 東日本スマートロジスティクスについて

駅の物流拠点化を実現することで、お客さまの日常生活における時間価値を高め、さらには物流 2024 問題などの社会課題解決へ貢献することを目指し、多機能ロッカー「マルチエキュープ」の展開やマルチエキュープでご利用いただけるサービスの拡充に取り組んでいます。

所在地	東京都墨田区江東橋 3-13-1 KS15 ビル 3 階
代表者	市原 康史
設 立	2023 年 7 月
事業内容	貸ロッカー業、スマートロッカー業
企業サイト URL	https://www.jre-sl.co.jp/

（参考）佐川急便株式会社について

宅配便を中心にチャーター輸送・低温物流・越境 EC など多様な物流サービスを展開し、全国 429 の営業所と 307 のサービスセンター、約 2 万人のセールスドライバーによる地域密着型の物流サービスを提供しています。さらに、全国に広がる輸送ネットワークとグループ総合力を生かし、顧客の課題に応じた最適な物流提案が可能です。

所在地	京都府京都市南区上鳥羽角田町 6 8 番地
代表者	笹森 公彰
設 立	1965 年 11 月
事業内容	宅配便など各種輸送にかかわる事業
企業サイト URL	https://www.sagawa-exp.co.jp/